

みなさんは、「ありがとう。」の言葉を、自分を支えてくれている家族や、仲の良い友達に伝えることができますか。私自身は、ついこの前まで、伝えることができないまま生活を送ってきました。相手に対する感謝の気持ちは感じながら、余りにも当たり前だったり、あるいは照れくさくて言えなかったり、ほとんどこの言葉を相手に伝えないまま過ごしてきました。そんな私が、祖父を亡くした時に改めて「ありがとう。」を伝えることの大切さを感じる事ができたのです。

祖父は、船の中で働く料理人でした。母の話では、私が生まれた時、三国から福井の産婦人科の病院までかなり遠いのに、毎日来てくれていたそうです。私が最初で、そして残念ながら最後の孫だったからかも知れません。私の記憶では、私が小学5年生の頃祖父は、認知症という病気になってしまいました。認知症は、家族の名前までも忘れてしまう病気です。病名を知っている人も多いのではないのでしょうか。

私の祖父も、病気の進行とともに、あんなに可愛がってくれていた私のことも徐々に分からなくなっていました。祖父の家に遊びに行っても、「誰ですか?」と言わんばかりの表情で私を見つめている、そんな祖父を見るのは悲しく辛かったです。病気の進行を祖父は自覚していない感じでした。その2年後の4月、他の病気も見つかり、とうとう亡くなってしまいました。

葬儀も終わり、1週間くらい経った時、ふと「おじいちゃんに、『ありがとう』と伝えていなかったのではないか。」と思いました。なぜそんなことを思ったのかは不思議でなりません。正直言って、伝えてはいなかったと思います。祖父が認知症になってから、祖父の家に顔を出す機会が減り、祖父と久しぶりに対面したのは、祖父の葬儀になってしまいました。今さら悔やんでも祖父は生き返ってはくれません。とても大きな後悔が残ります。例え私のことが分からなくても、どんな些細なことでも、心の底から感じた「ありがとう。」を生きている祖父に伝えておくべきだったと思いました。この辛い経験をしたからこそ、私はどんな時でも、どんなことに対してでも、どんな相手でも、「ありがとう。」と伝えられる人間になろうと思っています。

先日、もう一人の祖父が亡くなった時、伯父さんが泣きながら、「ありがとうございました。」と、棺に入った祖父に対して頭を深く下げていました。その伯父さんは、祖父の跡を継いで仕事をしていたのですが、仕事に厳しかった祖父からよく叱られていたため、生きている間に「ありがとう。」の言葉を伝えることができなかったからだそうです。祖父が亡くなってから、偶然見つかった祖父のノートには、祖父から伯父さんに直接言えなかった「ありがとう。」の言葉が何回も書かれていたそうです。もし、この二人が常に「ありがとう。」と言い合える関係だったらならば、最期のお別れも伯父は後悔すること無く、送り出せたのではないのでしょうか。

会えなくなってから後悔をしないように、必要な時に「ありがとう。」と相手に伝えながら、一日一日を私は大切に生きたいです。そして、以前の私のように、感謝の気持ちをもちながらも、迷ったり恥ずかしがったりして、その気持ちを伝えないまま日々を過ごしている人がいるのであれば、1人でも多くの人にこの思いが届いてほしいのです。

「ありがとう。」

みなさんは、自分を支えてくれている家族や、仲の良い友達にこの言葉を伝えることができますか。